

# 令和8年度 青森県介護現場課題解決会議

令和8年6月 書面開催

## ◆議題

令和8年度青森県介護生産性向上（業務改善）モデル事業所について

## ◆委員からの意見

### 1 モデル事業所について

事業所名	意見	結果
有限会社八戸メディカルサービス ヘルパーステーションほまれ	委員から「否」の意見はありませんでした。	左の9事業所をモデル事業所として決定する。
株式会社ダブルエム ヘルパーステーションたいよう		
社会福祉法人平元会 特別養護老人ホーム寿幸園		
社会福祉法人同伸会 地域密着型特別養護老人ホーム瑞光園ハイツ白銀台		
社会福祉法人報徳会 黒石特別養護老人ホーム		
社会福祉法人緑風会 特別養護老人ホーム緑青園		
医療法人幸仁会 介護老人保健施設みちのく苑		
特定非営利活動法人しゃらく グループホーム・トントン邑		
医療法人光成会 グループホーム西弘		

### 2 委員からの意見について

委員名	意見	意見に対する県の対応方針
棟方委員	皆さん切実な課題を抱えているのがわかります。	事業所が抱える切実な課題を重く受け止め、今後の会議で話し合いたいと思います。

<p>横山委員</p>	<p>関心を持ってくれた事業所が多数ありよかった。 このチャンスを生かし事業所としても事業が続けられ、スタッフの働き方や意欲が高まることを期待します。</p>	<p>御意見として承り、実際に伴走支援を行う「あおもり介護生産性向上相談センター」と共有いたします。</p>
<p>工藤（英）委員</p>	<p>事業所選定に関しては特段の意見はありませんが、取り組みの視点として、</p> <p>①ヘルパーステーション2ヶ所は、いずれも有料併設ですので、有料とのすみ分けなのか、一体的取り組みなのかなど、併設モデルとしての視点があればよいと思います。</p> <p>②施設系はいずれもデイサービスを併設していると思います。今般の選定事業所には通所系が入っていないので、一カ所でも通所系サービスの組みを入れたほうが良いと思います。</p> <p>③NPO のしゃらくさんは、高齢の介護職員が多いという特色がありますので、今般の取り組みは、課題や効果も含めてモデルのひとつとなるのではないかと、今から結果が気になります。</p> <p>④施設系はいずれも LIFE 加算をとっていると思います。生産性向上と質的な担保として LIFE との関連が課題として見えてくると次の展開につながると思います(個人的に、昨年度、厚労省の老健事業で LIFE の調査研究に参加していたので気になります)。</p>	<p>御意見として承ります。 実際に伴走支援を行う「あおもり介護生産性向上相談センター」と情報共有し、取り組みの参考といたします。</p>